



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 144 号 2015/ 11

ESD

持続可能な社会の構築には
路面電車の活用が不可欠

ESD とは

持続可能な社会の実現に向けた教育や学びの取組

昨年岡山では ESD 世界会議が開催されました。そこで「持続可能な社会への取り組みは、持続させなければならない」わけです。岡山市では今後、5年間の取組の基本方針「岡山ESDプロジェクト 2015-2019」をもとに取組を進めていきます。協議会には ESD を推進する市民団体・NPO、企業、学校、大学、公民館など 240 団体が参加しており、RACDA もその一員です。

便利だけれども、エネルギーと道路・駐車場空間を膨大に消費する自動車の利用を少し我慢し、電車やバスをもっと便利で使いやすいものにし、街の中心部を歩いて楽しい空間にする運動を、我々RACDA は進めてきました。京橋朝市や西川緑道公園イベント、岡山城後楽園イベントもすべて、同じ趣旨の取り組みです。

鹿児島島の街なかの路面電車軌道は芝生軌道なので、電車や自動車の騒音を吸収し、ヒートアイランド減少も緩和し、見た目も都市公園ベルトに見えます。岡山でも路面電車を駅前乗入し、駅前から桃太郎通りを芝生軌道にすれば、環境先進国の人々が見ると環境教育を徹底しているのだと分かります。まさに「見てわかる ESD」です。



NPO 法人公共の交通ラダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail:info@racda-okayama.org

URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



自転車で走って楽しいまちー「自転車先進都市」

持続可能な社会実現には？ーその答えの一つ「自転車先進都市」をめざして岡山では取組みが加速しています。

そのご紹介とともに、歩行者などの交通弱者や自動車などが入り混じる、交通コミュニティのなかで、安全・安心な仲間として、どのように自転車を受け入れるかを考えましょう。

■ コミュニティ・サイクル(自転車の共同利用)、「ももちゃり」の配備が拡大中。

今年9月までに、貸出・返却場所は、31か所、台数は282台に。岩田町では電動自転車5台も用意。岡山駅東側に25か所、西側に6か所ーうち岡大4か所。詳細は、「ももちゃり」で検索。

■ 自転車レーン。市役所筋の車道に専用レーン(青色表示)設置。現在桃太郎大通りの歩道の一部を専用レーンとして整備中。(駅前ー西川間、白線+自転車マークで)今後城下まで延長。

■ 道路交通法改正ー危険行為には講習義務付け。

H27年6月から施行。自転車重大事故への予防策です。自転車運転で、被害者にも加害者にもなってはいけません。自転車は、自動車に対しては弱者ですが、歩行者などには強者です。

信号無視・一時不停止・酒酔い運転・ブレーキ不良などは重大違反です。

■ 自転車関係事故について、岡山県警にお聞きしました。(各年、1~9月までの統計)

	事故件数		乗車中死傷者		自転車同士		自転車対歩行者	
	死亡	重症	死亡	重傷(人)	死亡	重傷	死亡	重傷
H27	11	152	11	147	0	8	0	4
H26	11	176	11	168	0	3	0	6
H25	18	169	18	167	0	3	0	1

重大事故は横ばいから、若干の減少傾向ですが、法律強化後も、まだまだ予防対策が必要。

■ 自転車シミュレーターの活用など。

岡山県警では県内12台を保有。本部・警察署に配備し、安全指導に活用。また自動車学校でも保有。多人数での講習に貸出も行っています。貸出希望は、ぜひ関係先までご相談を。

岡山市生活安全課では交通安全フェアを9月に西大寺で開催。また、自転車の安全運転講習を受けた児童に「自転車安全運転免許証」を交付する事業もスタートしました。

《自転車シミュレーター》



《自転車安全運転免許証》



(宗田 繁)